実りの秋。今年ももうそんな季節になっちゃいました･･･朝晩はだいぶ過し易くなって先月の「猛暑」とは雲泥の差が感じられます。けれど、これからは寒くなる一方でその後の事を考えると、あまり喜んでもいられませんかね･･･

今年は山の「木の実」の作はどうだったのでしょう？夏場が「猛暑」だったせいで余り宜しくないように思います･･･夏場にクマの目撃情報もありましたが、2019年のように「クマ騒動」が起きない事を願いたいものですね･･･

瓦版 9月号

発行 ㈱カネマタ工務店
TEL 025-792-2560
FAX 025-792-7102
http：//kanematak．cam

熱々！クリーミードリア

熱々のうちにいただきましょう。

【材　料】

温かいご飯	800g	A ほんだし	大さじ2
鶏もも肉	240g	A 薄口しょうゆ	小さじ2
しめじ	2パック(200g)	塩･コショウ	適宜
玉ねぎ(大玉)	1個	ピザ用チーズ	160g
薄力粉	大さじ3	小ネギ(小口切り)	適宜
水･牛乳	2カップ	オリーブオイル	大さじ2
		バター	30g

【作り方】

1. 鶏肉は小さめの一口大に切り、しめじは小房に分け、玉ねぎは薄切りにする。オーブンは180℃に予熱する。
2. フライパンにオリーブオイルを熱し、(1)の具材を入れ、塩･コショウをして炒め、水を加えて煮る。
3. 別のフライパンにバターを熱し薄力粉を炒め、サラッとしたら牛乳を加えて溶きのばす。煮立ったら(2)を加えて混ぜ合わせ、塩･コショウで味を調える。
4. ボウルにご飯、Aを入れて混ぜ合わせ、グラタン皿に等分に入れ(3)をかける。チーズをのせて180℃のオーブンで焼き色が付くまで10分ほど焼き、小ネギを散らす。

※分量の目安：4人分　※この記事は昨年と同じです。

「地盤調査」･･･実施しました。

「建替物件」もようやく建物の構想がほぼ決まり、やっと実施設計と工事費試算の段階に入りました･･･それに伴い事前に行った、人力地盤調査(画像上)で粗方の支持地盤の深さは予想していましたが、これを確認するため機械式地盤調査を実施しました。

弊社は「中越地震」の前から人力での調査は必ず行っていましたが、地震後はより正確な情報が得られる機械式の調査を必須項目にしてます･･･この調査の情報如何で「地盤改良工事」が必要か否かの判断をする事になりますのでとても「重要」。

改良工事は一番最初に行う工事になります･･･簡易調査では地表から40･50cm位で貫入は止まりましたが、機械調査の結果もほぼ変わらずでした。今回はセメントで固める工法ではなく、掘削深を深くして「砕石」を厚く入れ締固る工法で考えています。

毎回この両方の調査を行いますが殆どの場合、調査結果には大差がなく人力で行う結果から基本的な構造計算を始めても大丈夫なようです･･･最も深く鋼杭を貫入したのは5m位でしたが、引抜くのに大変難儀した事もありました。また途中で転石に当ったりすると何回も場所を変えて調べなければならないので大変な作業なんです･･･

「国内林業」･･･運営活性化の兆し！

長引く「輸入木材の流通障害」の影響･･･北米産の米松材は1週間程度の期日を待てば手に入るようにはなりましたが、ロシア産の赤松材は殆ど流通経路に出る事は今後ますます厳しくなると思いますし、針葉樹合板は全くと言っていいほど入手出来ない状況が続いています。加えてこの合板を基材としたフローリングも品不足が深刻化してきています･･･流通価格は2年前に比べると5割から2倍、それ以上の物もあり更に高騰しそうな情報も聞かれます･･･

この世情から国産材の生産･利用が活性化してきているようです･･･価格面で劣勢だった状況で間伐や枝打ち等の作業が主力で、市場への生産は極僅かだった森林組合などは「ハーベスタ」等の林業用機械を拡充し、機械化を進め労力を軽減化したり、新規の職員を求人し後継者の育成を図るところが出ています。

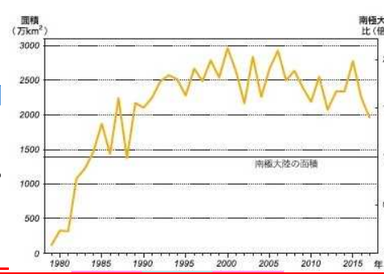
昔は自分のところの山の木を伐出し、それを製材して必要な部材を揃え家を建てていたんですよね･･･現在は家の断熱性や長寿命化が求められるので、伐出してすぐ使う訳にはいきません。自然もしくは強制乾燥を施し、木の性質を落ち付かせてから製材し直し、分決めをして生産する･･･この手間と費用が掛かる事が価格が高くなる要因でした。輸入材の流通価格が上がった事で、この費用の分を相殺しても何とか経営が成り立つ林業が営めるようになってきたと考えられます。一般に植樹から採樹に至るまで杉で40年、桧で45年位掛かると言われていますが、この生産サイクルを維持でき継続的な経営が可能になれば、もっと国産材の利用も広がるのでは･･･

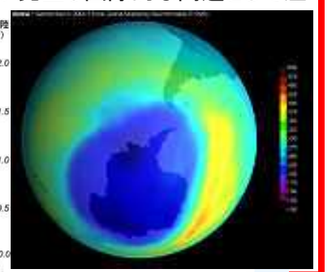
今日は何の日･･･「国際オゾンデー」

1920年に「ゴードン･ドブソン」が科学的観測によりその存在を証明した「オゾン層」･･･高度10-50kmの成層圏に存在するオゾンの濃度が高い空間の事で、最も高い濃度は高度20km付近と考えられます。オゾンは「光化学スモッグ」として知られている方も多いと思いますが、成層圏中で発生するオゾンは酸素分子が太陽からの242nm以下の波長の紫外線を吸収して光解離し、酸素原子になり更に他の酸素分子と結合してO3のオゾンになる。また生成したオゾンは320nm以下の波長を持つ紫外線を吸収し、酸素分子と酸素原子に分解するという反応も同時に進行するようです。

オゾン層は、太陽から放出される有害な波長の紫外線を吸収し、地球上の生態系を保護する重要な役割を果たしています･･･紫外線は波長によりUV-A(400-315nm)･UV-B(315-280nm)と、最も波長が短く有害なUV-C(280nm未満)に分類されます。UV-Cはこのオゾン層で完全に吸収され地表に届く事はありませんが、UV-Bは一部が地表に到達し皮膚の炎症や「皮膚癌」の原因になります。「オゾンホール」と言う言葉を耳にした方もいらっしゃると思いますが、冷媒として使用される「フロンガス」等の塩素含有物質の影響によりオゾンが希少となる空間が発生し国際的な問題として注目されました。これを食い止めるために1985年にウィーン条約が採択され、更に1987年にモントリオール議定書の採択で世界的にフロン規制がようやく始まりました･･･現在はこの条約により気象変動に抑制が掛かってきているようです。

09月16日はこの条約の採択を記念した「国際オゾンデー」として注目喚起する日であります。





9月 長月 2022年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			上弦				白露	重陽	十五夜	一粒万倍日					一粒万倍日			敬老の日	彼岸入			秋分の日			彼岸明		一粒万倍日			
先勝	友引	先負	仙滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仙滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仙滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仙滅	大安	赤口	先勝	先負	仙滅	大安	赤口	先勝	友引
地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭吉日		地鎮祭 上棟吉日		三隣亡	地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭吉日	三隣亡	地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日	三隣亡	上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日